

### 愛染院故郷塚

この寺は、正式には遍光山愛染院願上寺であるが、一般的には「愛染院」と呼ばれている。この地区のいくつかのお寺の一つである。主仏は五つの知恵の明王の一人である愛染明王で、人間の情熱と愛欲を司り、地上の欲望を通して、靈的な悟りを達成できるように信者を助けるのである。

愛染院は松尾家の菩提寺であり、寺院の墓地には松尾芭蕉（1644-1694）の墓がある。しかし、ここには芭蕉の髪の毛だけしか埋葬されていない。彼は1694年に大阪で亡くなり、遺体は滋賀県の琵琶湖の近くに埋葬された。芭蕉の弟子たちは、芭蕉の身体の一部だけでも先祖の墓に入れるよう守りたかったからである。しかし、芭蕉が本当に眠っているのは琵琶湖の畔であった。

墓地の庭には、芭蕉の名前の由来になったバナナの木（芭蕉）と、芭蕉が旅の間、使い続けた杖の材料であった椿の象徴的な二種類の植物が植えられている。墓の前にあるこれらの木のほかに、芭蕉の墓への道には、彼の俳句の句碑が並んでいる。